

山梨大学教育学部紀要

第35号

Vol.35 2024年度

目 次

消散的分散的保存則の解の性質

..... 吉 田 夏 海 1

初等理科実験および生物学実験 I で確認された山梨大学甲府西キャンパス構内の木本植物

..... 芹 澤 如比古・芹澤（松山）和世 7

八ヶ岳火山群直下の地震波速度構造とその意味

..... 福 地 龍 郎 29

社会科教師の成長における学部教員養成と教職大学院の接続

ー授業・実習・環境に関する聞き取りからー

..... 後 藤 賢次郎 51

教職大学院の教育法科目「社会科の本質と目標・内容構成」の成果と課題

ー受講者への「教師の専門職の資本」を視点にした聞き取りからー

..... 後 藤 賢次郎 71

台湾におけるインタラクティブアート鑑賞の試み

ー視覚障害を持つスタッフによる鑑賞ガイドー

..... 芝 田 典 子 91

現代汉语“‘已经’+动词”与“‘已经’动词+‘了₁’”的成立条件

..... 町 田 茂 103

社会科公民教育のための「私利」と「公益」の比較研究 その2

公益の理解を妨げる社会構造変化

..... 宇 多 賢治郎 113

社会科公民教育のための「私利」と「公益」の比較研究 その3

政経分離思想が生じる社会科学的理由

..... 宇 多 賢治郎 131

カフカ『夫婦』と『隣人』における視覚、労働、そして電話

..... 寺 田 雄 介 149

高校生が自分の将来を見据えて情報社会を学ぶ「情報Ⅰ」の問題解決の実践

..... 稲 垣 俊 介 161

自然認識形成を図る教育内容研究から問う幼小連携の事例研究

ー酸性学習における幼児と児童の思考の連続面ー

..... 梶 原 郁 郎 173

教育学研究における方法主義の問題

ープラグマティズムの終焉という思想的危機ー

..... 梶 原 郁 郎 189

Bulletin of the Faculty of Education The University of Yamanashi

Vol.35 2024

Contents

Properties of the Solutions to the Diffusive Dispersive Conservation Laws	YOSHIDA Natsumi	1
Woody Plants Found in the Kofu West Campus of University of Yamanashi during the Elementary Science Experiment and Biology Experiment I	SERISAWA Yukihiro, MATSUYAMA—SERISAWA Kazuyo	7
Seismic velocity structures directly beneath the Yatsugatake Volcanoes and their significance	FUKUCHI Tatsuro	29
Connecting the Faculty of Education and the Graduate School of Education in the Development of Social Studies Teachers: Based on Interviews about Classes, Teaching practice, and the Environment	GOTO Kenjiro	51
Achievements and Challenges of the “Essence, Goals, and Content Structure of Social Studies” at the Graduate School of Education: Based on Interviews with Participants Focusing on “Professional Capital of Teachers”	GOTO Kenjiro	71
The Practice of Interactive Art Appreciation in Taiwan -Experiences of Art Appreciation Guided by Individuals with Visual Impairments-	SHIBATA Noriko	91
Formation conditions of “‘Yijing’+verb” and “‘Yijing’ +verb+ ‘le ₁ ’ ” in Mandarin Chinese	MACHIDA Shigeru	103

A Comparative Study of Interest for Social Education Part2	UDA Kenjiro	113
A Comparative Study of Interest for Social Education Part3	UDA Kenjiro	131
Sicht, Arbeit und Telefon. Über Franz Kafkas <i>Das Ehepaar</i> und <i>Der Nachbar</i>	TERADA Yusuke	149
Problem-Solving Practices in ‘Informatics I’ for High School Students: Learning the Information Society with a Focus on Their Future	INAGAKI Shunsuke	161
Case Study for Cooperation between Preschools and Elementary Schools from Viewpoint of Study on Educational Content to Ensure that Infants and Primary School Children Became to Understand Natural Mechanisms: Continuous Relationship between their Thought about Acid	KAJIWARA Ikuo	173
The Issue of <i>Content Free</i> in Educational Studies and Research: The Philosophical Crisis of the End of Pragmatism	KAJIWARA Ikuo	189

2024年度（令和6年度）科学研究費

研究代表者

1) 挑戦的研究（萌芽）

「ALS患者の身体を行為連携社会につなぎとめる仮想現実「体育」空間」

(2020～2024年度)

木島 章文

「教科横断的な市民育成のための「言葉」「概念」に関する探索的研究」

(2023～2025年度)

後藤賢次郎

2) 基盤研究（B）

「集団協応の数理構造に基づく身体的社会性の仮想空間育成システム」

(2020～2024年度)

木島 章文

「運動学習速度を規定する神経機序」

(2023～2026年度)

関口 浩文

3) 基盤研究（C）

「J. デューイの科学の教育過程に関する心理学的・社会学的研究」

(2018～2024年度)

梶原 郁郎

「伝建地区の生活文化継承を支えるコミュニティの創成と居住システムの構築に関する研究」

(2019～2024年度)

田中 勝

「社会構成主義に基づく探索的・主体的・対話的な保育者の専門性向上に関する研究」

(2019～2024年度)

秋山 麻実

「中等国語科文学教育における「語り手」概念の導入と展開、発展の道筋の解明」

(2019～2024年度)

齋藤 知也

「児童生徒のSNS利用行動と友人関係：「現代的」特徴の多義性をふまえた検討と応用」

(2019～2024年度)

若本 純子

「小学校体育科「体づくり運動」領域における基本的な動きの評価方法の開発」

(2019～2024年度)

中村 和彦

「ドイツにおける暴力予防教育プログラムに関する研究」

(2019～2024年度)

高橋 英児

「かな成立史の研究」

(2020～2024年度)

長谷川千秋

「局所変形が与える結び目の幾何・代数の研究」

(2020～2024年度)

中村 拓司

「家庭科教員のキャリアステージに対応した養成と研修を繋ぐキャリア形成システムの構築」

(2021～2024年度)

志村 結美

「戦後初期の学校と地域の連携構想とその受容－高校と地域の互惠関係構築に着目して」

(2021～2024年度)

日永 龍彦

「感性アナライザとプロトコル分析を用いた描画過程解析に関する基礎的研究」

(2021～2024年度)

栗田 真司

「子どもの〈問い〉から主体的な学びを実現する図画工作科・美術科の授業に関する研究」

(2021～2024年度)

新野 貴則

「「文字文化」としての手書き文字の総合的理解および学習方略の研究」

(2021～2024年度)

清水 文博

「音楽の視覚化と絵画の音楽化による創造性育成の指導法研究」

(2021～2024年度)

小島 千か

「知的障害のある子どもの放課後生活を充実させるための支援体制の整備に関する研究」

(2021～2024年度)

松下 浩之

「知的障害を伴う ASD 児の教室環境における対話分析と対話機能の発達支援」 (2021～2024 年度)	吉井 勘人
「律令制と公民制の形成過程から見た 7 世紀史の再構築」 (2022～2025 年度)	大隅 清陽
「夜着の模様と形の研究－日本の就寝文化の理解に向けて－」 (2022～2026 年度)	岡松 恵
「感染対策をふまえた日伊・日台国際連携による触覚美術鑑賞ツール開発・実践研究」 (2022～2024 年度)	武末 裕子
「歴史的町並み・集落にみる「減災の知恵」を活かした持続可能なまちづくりに関する研究」 (2022～2025 年度)	田中 勝
「英語授業における生徒の発話およびスピーキング力の育成を促進する教師発問の開発」 (2022～2024 年度)	田中 武夫
「部活動が日本のスポーツにおけるケガへの寛容性にもたらす社会・文化的影響」 (2022～2025 年度)	尾見 康博
「粘性保存則に対する時間大域解とその漸近挙動」 (2022～2024 年度)	吉田 夏海
「セルロースナノファイバーによる植物由来ポリウレタン発泡体の流動性・発泡性制御」 (2022～2024 年度)	森長 久豊
「日本型歴史理論の成立に関する思想史的研究」 (2022～2024 年度)	佐藤 正幸
「時間反転波伝送と機械学習の協奏に基づく極低遅延光ファイバ通信システムの研究」 (2021～2025 年度)	岡村 康弘
「アリストテレスの『弁論術』における「感情喚起を通じた説得」の位置づけの解明」 (2023～2025 年度)	相澤 康隆
「D. G. ロセッティ及び周辺の作家の人間（顔）の表象：19 世紀英国の自然観の変容」 (2023～2027 年度)	加藤 千晶
「日本語の真偽疑問文に対する応答に関する獲得研究」 (2023～2025 年度)	磯部 美和
「「語り」を多元化・相互行為化する物語標識の認知語用論研究」 (2023～2025 年度)	仲本康一郎
「メタヒストリー学習に基づく「社会に開かれた歴史教育実践」の実現化促進条件」 (2023～2027 年度)	服部 一秀
「中学校理科教師の専門職資本の発達」 (2023～2026 年度)	杉山 雅俊
「音楽聴取によるスプリントパフォーマンス向上メカニズムの探索と応用」 (2023～2025 年度)	安藤 大輔
「運動部活動を媒介にした教育界のヘゲモニー獲得戦略としてのスポーツ伝播」 (2023～2026 年度)	加藤 朋之
「発育期低栄養に起因する消化管ホルモンエピゲノム異常と慢性炎症との関連」 (2023～2025 年度)	今井 千裕
「戦後初期の大学・高校と地域の連携構想とその受容－日本・琉球・韓国の異同に着目して」 (2024～2026 年度)	日永 龍彦
「20 世紀初頭米国における教育と研究論議：大学教員資格と連邦教育局の動向に着目して」 (2024～2026 年度)	吉田翔太郎
「男女共習体育授業の効果的な指導方法の構築：授業実施方法と学習者の意識に着目して」 (2024～2026 年度)	金沢 翔一
「学校数学における探究的な学びを志向した文字式の活用に関する実践的研究」 (2024～2026 年度)	清水 宏幸

「ヒトの消化系に関する科学的認識を志向した教授・学習過程の構築」 (2024～2027年度)	佐々木智謙
「情報発信における過剰省略と過剰補完の機序およびその抑制方法の解明」 (2024～2027年度)	小野田亮介
「ダン・グレアムの活動と「コミュニティ」」 (2024～2027年度)	平野千枝子
4) 若手研究	
「「チャタレイ事件」と1950年代の「文壇」概念の形成をめぐる基礎的研究」 (2021～2024年度)	尾形 大
「学習者主体の学びへの変容を促す小学校教師向け独学パッケージの開発」 (2022～2025年度)	三井 一希
「がんに罹患した児童生徒に対するICTを主とした教師の教育的支援の在り方について」 (2024～2026年度)	川池 順也
5) 研究活動スタート支援	
「高等学校の科目「情報Ⅰ」の「データの活用」分野の授業実践の方法とその効果の検証」 (2024～2025年度)	稲垣 俊介
6) 特別研究員奨励費	
「スポーツにおける対人暴力被害者の心の傷：複雑性PTSDに基づく中核的症状の特定」 (2024～2025年度)	豊田 隼

研究代表者（分担者）

- 1) 挑戦的研究（萌芽）
「行動解析と数理モデルによる城門防御機能の定量的評価：スポーツ科学からの挑戦」
研究代表者 新潟医療福祉大学 教授 山本 裕二
本学分担者 木島 章文
- 2) 基盤研究（A）
「「学習指導要領体制」の構造的変容に関する総合的研究課題」
研究代表者 花園大学 教授 植田 健男
本学分担者 日永 龍彦
「複数の事前分布の学び分け：タイミング行動における神経基盤と心理物理学的機序の探究」
研究代表者 静岡大学 教授 宮崎 真
本学分担者 関口 浩文
- 3) 基盤研究（B）
「外国語学習が母語への気づきを促進するメカニズムに関する理論的・実証的研究」
研究代表者 関西大学 客員教授 大津由紀雄
本学分担者 教授 磯部 美和
「読み書き発達の認知的・環境的要因の解明と早期支援モデルの開発」
研究代表者 筑波大学 准教授 丹治 敬之
本学分担者 准教授 松下 浩之
「メンタルヘルスの不調と行動問題に関する知的障害児への心理教育的支援システムの開発」
研究代表者 信州大学 准教授 下山 真衣
本学分担者 准教授 松下 浩之

「高度情報化社会におけるプライバシーの学際的研究」

研究代表者 京都大学 特定准教授 上出 寛子
本学分担者 特任教授 坂田 信裕

「スキル修得とマインド涵養の両面を促進する学習支援プラットフォーム構築」

研究代表者 公立千歳科学技術大学 教授 小松川 浩
本学分担者 特任准教授 鈴木 一克

「日本・ニュージーランド・イタリアにおける保育カリキュラムの創造と評価の研究」

研究代表者 東洋英和女学院大学 教授 塩崎 美穂
本学分担者 名誉教授 加藤 繁美

「探究的な学びのための中学校教師による自律的授業研究コミュニティ形成に関する研究」

研究代表者 岩手大学 准教授 佐藤 寿仁
本学分担者 教授 清水 宏幸

「文脈理解可能な「AI話しことばチェッカー」の開発と実証評価」

研究代表者 帝京大学 准教授 山下由美子
本学分担者 教授 日永 龍彦

「強度行動障害の公衆衛生に基づく予防支援方略の開発」

研究代表者 西南学院大学 准教授 倉光 晃子
本学分担者 准教授 松下 浩之

「学校数学カリキュラムにおけるアラインメントの構築」

研究代表者 筑波大学 教授 清水 美憲
本学分担者 教授 清水 宏幸

「問題解決型PBLを導入した広領域STEM+Aの授業モデル・評価に関する発展的研究」

研究代表者 東京学芸大学 教授 大谷 忠
本学分担者 准教授 後藤賢次郎

「児童生徒の自己調整学習の能力育成のためのデータ駆動による学習指導・家庭連携の手法」

研究代表者 東京学芸大学 教授 堀田 龍也
本学分担者 准教授 三井 一希

「探究的な学びのための中学校教師による自律的授業研究コミュニティ形成に関する研究」

研究代表者 岩手大学 准教授 佐藤 寿仁
本学分担者 教授 清水 宏幸

「一般情報教育のデジタルトランスフォーメーション（DX）」

研究代表者 静岡県立大学 教授 湯瀬 裕昭
本学分担者 准教授 山際 基

4) 基盤研究（C）

「社会構成主義に基づく探索的・主体的・対話的な保育者の専門性向上に関する研究」

研究代表者 山梨大学 秋山 麻実
本学分担者 高橋 英児
新野 貴則
小島 千か

「部活動が日本のスポーツにおけるケガへの寛容性にもたらす社会・文化的影響」

研究代表者 山梨大学 尾見 康博
本学分担者 小野田亮介

「〈私小説性〉の計量的分析と国際比較による〈自己語り〉文学の発展的研究」

研究代表者 大正大学 教授 梅澤亜由美
本学分担者 准教授 尾形 大

「日本人の共生意識に基づいた子育て・子育てのための共生型集住に関する研究」

研究代表者 大妻女子大学 教授 大橋寿美子
本学分担者 教授 志村 結美

- 「知的・発達障害児のためのゲームと情報技術を融合させた発達支援システムの開発」
研究代表者 山梨大学 助教 杉浦 篤志
本学分担者 教授 吉井 勘人
- 「内因性カンナビノイド発現の性差を考慮したメンタルヘルスケアのための運動方法の構築」
研究代表者 山梨学院大学 専任講師 矢部 哲也
本学分担者 准教授 安藤 大輔
- 「対人運動が創発する心身シンクロニーの幾何構造」
研究代表者 山梨大学 教授 島 弘幸
本学分担者 教授 木島 章文
- 「神経生理学的アプローチによるハムストリングス肉離れ受傷リスク要因の解明」
研究代表者 慶應義塾大学 講師 東原 綾子
本学分担者 教授 関口 浩文
- 「日本古代の内陸に立地する牧における塩分補給のための塩泉利用の追究」
研究代表者 帝京大学 研究員 平野 修
本学分担者 教授 大隅 清陽
- 「大学等の高等教育機関における知的障害当事者の在学実態と修学支援に関する開拓的研究」
研究代表者 東海学院大学 教授 池田 敦子
本学分担者 准教授 内藤 千尋
- 「レジリエントな社会の構築を目指した生活に関する総合的な認識形成とカリキュラム開発」
研究代表者 愛知教育大学 教授 青木香保里
本学分担者 教授 志村 結美
- 「保育者による身体活動量と基本的動作を考慮した運動遊びの実施の有用性と継続性の検討」
研究代表者 共栄大学 講師 篠原 俊明
本学分担者 学長・教授 中村 和彦
- 「日々の学習を通じた自己調整スキルの育成ー自己調整サイクルと習得サイクルの接合」
研究代表者 学習院大学 教授 篠ヶ谷圭太
本学分担者 准教授 小野田亮介
- 「安心して協働的に学習できる授業形成過程の縦断的検討」
研究代表者 東京大学 准教授 一柳 智紀
本学分担者 准教授 小野田亮介
- 「自閉症児の「迷い、相談し、解決する」支援プログラム開発：学習科学からのアプローチ」
研究代表者 実践女子大学 教授 長崎 勤
本学分担者 教授 吉井 勘人
- 「触察教育のための「さわる絵本」の研究および制作プログラムの開発・実践」
研究代表者 山梨県立大学 准教授 古屋 祥子
本学分担者 教授 武末 裕子
- 「英語教師の成長を促す実践共有コミュニティにおけるメンターの役割と課題の解明」
研究代表者 青山学院大学 教授 高木亜希子
本学分担者 教授 田中 武夫
- 「抑うつ状態にともなう視知覚の片側性と高次行動の維持・調整機構の解明」
研究代表者 上武大学 教授 竹内 成生
本学分担者 教授 関口 浩文
- 「運動学習をもたらす神経基盤の解明」
研究代表者 高知工科大学 准教授 門田 宏
本学分担者 教授 関口 浩文
- 「対人競技における動作切替の技能の解明：準備ー初期段階の情報処理の影響」
研究代表者 東京学芸大学 准教授 奥村 基生
本学分担者 教授 木島 章文

編 集 後 記

『山梨大学教育学部紀要 第35号』をお届けいたします。ご投稿いただきました方々の真摯な研究活動と丁寧に編集作業をしていただきました委員の方々、お力添えいただいたすべての皆様に心より感謝申し上げます。

ここに示された成果が、学術研究の分野、学生教育、地域社会の発展の糧とならんことを祈念しております。

(2025年2月 塚越奈美 記)

山梨大学教育学部紀要 第35号

2025年2月21日発行

発行者 山梨大学教育学部

発行所 山梨大学教育学部

山梨県甲府市武田4丁目4-37

編 集 山梨大学教育学部研究紀要委員会

塚越 奈美 安藤 大輔 磯部 美和

大隅 清陽 森長 久豊 梶原 郁郎

納 本 有限会社 タクト

山梨県韮崎市大草町下條中割711-6